

会 議 録

1 会議名

平成28年度第10回吉川区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）健康づくり推進課との意見交換

（2）自主的審議事項について

① 頸北斎場について

（3）平成29年度吉川区地域活動支援事業の採択方針案等について

・報告事項（公開）

（1）総合事務所からの諸報告について

3 開催日時

平成29年2月16日（木） 午後5時30分から午後7時32分まで

4 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、上野康博、薄波和夫、大滝健彦、片桐利男、片桐雄二、
加藤正子、佐藤均、関澤義男、平山英範、山岸晃一、山越英隆、
横田弘美

・事務局：小林所長、関次長（総務・地域振興グループ長兼務）、八木市民生活・
福祉グループ長（教育文化グループ長兼務）

（以下グループ長はG長と表記）、

健康づくり推進課 横山課長、新保主任

風巻総務・地域振興グループ班長、鷺津総務・地域振興グループ主任

8 発言の内容

【関 次長】

・会議の開会を宣言

- ・委員全員の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：片桐雄二会長

【片桐雄二会長】

- ・挨拶

【関 次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務める。

【片桐雄二会長】

- ・本日の次第の確認
- ・関連する報告事項の整理
- ・協議事項
 - (1) 健康づくり推進課との意見交換
 - (2) 自主的審議事項について
 - (3) 平成29年度吉川区地域活動支援事業の採択方針案等について
- ・会長報告

【片桐雄二会長】

- ・先日、柿崎病院の後援会の会議があった。会長は楡井県議である。
- ・柿崎病院の院長、看護部長、薬剤部長、検査部長が退任する。組織的に大きく人員が異動となる。院長は県職を退職し他の病院へ異動となり、その他は定年退職である。
- ・懸案事項であった柿崎病院の売店の件で、これまで県立中央病院から人を派遣して売店を営業していたが、新しい売店経営者が見つかり、売店を安心して利用できるようになったとのこと。
- ・先日、市議会議員の呼びかけで、28区地域協議会正副会長を招いての意見交換会があった。旧上越市は2月13日、13区は14日に開催された。山岸副会長と私が参加し、傍聴で片桐利男委員、関澤委員が参加した。
- ・内容的には、今回初めての試みで、分科会にわかれ意見交換会が行われ、Bグループで参加した。
- ・皆さんからは、こういう市議会議員との交流の場がなかったので、今後も続けてほしい、我々からも地域の課題について協議したいということで、一部頸北斎場の件

についても話があった。今後も継続する方向で考えているようだ。以上報告する。

- ・委員報告を求める

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事務局からの報告を求める。

【関 次長】

- ・特段報告事項はありません。

【片桐雄二会長】

- ・4 協議事項に入る。
- ・(1) 健康づくり推進課との意見交換を行う。
- ・本日は、健康づくり推進課との意見交換第2回目です。まず、健康づくり推進課から説明を願う。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・協議資料No.1-1、及び追加資料に基づき説明。

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。

【片桐利男委員】

- ・協議資料No.1-1の4ページ上段に、お斎の利用場所について、とあるが、2段目にセレモニーホールの使用が約8割、割烹等は約2割との回答とあり、葬儀はセレモニーホールを利用し、お斎は地元割烹等を利用しているものや、とある。
- ・セレモニーホールを利用してお斎は割烹というのが2割なのか。この辺はどう理解したらいいのか。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・2割というのは、どういうやり方にしても、お斎を割烹で行うケースが2割ということである。自宅で葬儀をし割烹を使われるケースや、セレモニーホールで葬儀をして割烹を使われるケースも含まれて2割ということである。

【片桐利男委員】

- ・セレモニーホールを使わないのに、お斎は地元割烹でということもあるような話に聞こえたが、セレモニーホールを利用して、お斎は、セレモニーホールが8割、割

烹が2割ということで、3列目にある、葬儀はセレモニーホールを利用して、お斎は地元割烹を利用するものや、というのが2割という考え方でいいのか。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・葬儀があつて地元の割烹を使われるケースが2割ということで、セレモニーホールを利用した人が割烹を使うケースが2割ということではない。

【片桐利男委員】

- ・ありがとうございました。

【片桐雄二会長】

- ・関澤義男委員、どうぞ。

【関澤委員】

- ・資料を見ると、あたりまえの葬儀のやり方をただ提示してきたという認識である。
- ・頸北斎場と上越斎場を使った場合の、吉川からのどれくらい経費の差があるのか。
- ・吉川の場合、料理屋さんが4軒あり、セレモニーホールは大潟区にあり、柿崎区にもセレモニーホールがあるが、上越斎場を使った場合と、頸北斎場を使った場合の、もっと細かい調査データが必要だと思う。この資料では、葬儀の流れについては、皆このようにやっている。資料で提示してもらわなくても結構である。
- ・先回のぶり返しとなるが、更新時期が30～40年とある中、頸北斎場は23年である。今日も現場視察をしたが、素人から見れば・・・。
- ・中越沖地震のとき、どれくらいの被害があつたかといえば、入り口の部分の本屋とゲートの建屋のところで少しヒビが入った程度で、地山なので被害はなかったそうだ。メンテナンスさえしていれば持つという話だ。
- ・市との話し合いの最後に結論を出すというが、すでに新斎場の計画が立っていて、だまし討ちをされるのではとの懸念がある。頸北斎場を存続してもらえるのか、廃止しないのか、白黒というか、確定的な何かがあればと思う。
- ・即答弁とはいかないが、その辺も含んで、見解をお話し願いたい。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・先般、柿崎区にお邪魔した際、ある委員さんが、斎場についていろいろ調査してくださり、霊柩車、送迎バスの関係で、ある程度料金が距離制になっているという意見をいただいた。料金がだいたいこのくらい上がるのではという話を伺った。
- ・私どもも以前、そういう業者に問い合わせたが、なかなか教えてくれない。営業秘

密ということで。なかなか教えていただけないが、委員さんは上手にお聞きになられたと思う。私どもも、引き続き、そういったところも調査をしたいと思う。

- ・次회가、斎場までのアクセスということで、移動距離という話になると思う。先回、柿崎区で頂いた意見を参考に、調べられることがないか、調査に入りたい。
- ・どこの地域協議会の会場に行っても、頸北斎場の今後はどうなのか、というところを、どうしても聞かれてしまうが、今、私どもの思いとしてはそうではなく、基礎の部分で、こういった問題がある、こういったことがある、ということ、共通認識として整理したいという思いで来ている。
- ・そういうことを省いてやろう、という意見も頂いているが、もうしばらくお願いしたいと思っている。そういった方針が出れば、皆様方と話をさせてもらいたい。

【片桐雄二会長】

- ・関澤委員、よろしいですか。

【関澤委員】

- ・市の方でも、この問題について、真剣にお考え願いたい。上越市は広大な地域であり、吉川、柿崎、大潟の人は、一部でわーわー言っているというような、結果的に馬鹿を見ないというか、少しは願いをかなえてもらいたい、というのが私の思いである。よろしく願います。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【薄波委員】

- ・資料の3、5ページの表の数字について聞きたい。セレモニーホールを利用している件数が合計2,790件とあるが、5ページでは合計が2,490件となっており、300件のズレがある。セレモニーホールを使っているが、火葬場は使っていない、別のところで火葬しているということではないか。この違う理由があればお願いしたい。内緒で火葬する人はいないと思う。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・事業所からのアンケートの集計が3ページの利用件数である。アンケートで回答いただいたものが2,790件である。
- ・パーセントはこうなるが、件数自体は私どもの実際のものとは異なる。低い件数となっている。

【薄波委員】

- ・アンケートの結果ではあるが300件というのはズレが大きいと思う。もう少し精度を上げたデータが欲しいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・今の薄波委員の発言で答弁があればお願いします。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・5ページの資料は、上越市の市民の方の葬儀であるが、3ページの資料は、経塚斎場の方で、妙高市さんの火葬分も入っており、件数が多くなってきているところがある。妙高市さんの件数を合わせたとしても、ぴったりとは合わないと思う。概ね件数は合うと思う。

【片桐雄二会長】

- ・薄波委員、よろしいですか。

【薄波委員】

- ・わかりました。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【薄波委員】

- ・質問ではないが、3ページのセレモニーホールの利用件数の表について、頸北斎場の欄の教会・寺院・町内会館の割合が、他のところに比べ非常に大きいというのがわかるが、私の地元は頸北斎場の山の下にあり、子どもの頃、よく葬儀に参加したが、町内会館を多く使う葬儀が中心だった。だから、こういうふうパーセンテージが大きくなっている。そういう所を使う理由は、経費をかけたくないということから来ていると思う。(火葬場を)1か所に集中してしまうと、そういう心配を懸念していた地元の皆さんが困ってくるだろう、という可能性が考えられる。

【片桐雄二会長】

- ・今の薄波委員の発言で答弁があればお願いします。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・委員が言われるとおり、セレモニーホールを使うと相当経費がかかってくる。私の地元でもお寺が使われることがある。葬儀については、セレモニーホールにお願いし、壇を飾ってもらったり、車を出してもらったりするが、セレモニーホール自体

を使わないというのは、私の地元でも一般的である。

【山岸副会長】

- ・影響としては、現状の数字の部分だけではなく、今後、方向性として1つになってしまった場合、影響は、セレモニーや葬儀関係業者だけではなく、お斎に係る割烹料理屋さんだけではない。
- ・上越市で、新斎場で1つになったとすると、恐らく遠い親戚は、地元に来ない。上越斎場の近くで、ホテル、宿を取って、駅の乗降数から影響が出る。
- ・我々の感覚からすると、自宅葬も含め、寺参りのタイミングは、終わりの方の火葬中がほとんどで、地域によって状況は違うが、私の感覚としては、そういうところもあるではなく、私の認識としては逆である。こちらの仏教会などは、ほとんどは火葬中にお寺参りをしてきて、その先に進むという流れがある。
- ・資料5ページの数字について、頸北斎場の火葬の件数だが、小動物の件数が入っていない。お願いしたが、同じ数で上げてきている。頸北斎場の扱いが少ないというところに行きそうである。火葬件数は炉が動く回数にしてほしい。数字的には納得しがたい。
- ・細かい部分の前にまず、あり方、斎場の位置と数、ここをまず、一番大事な部分なので、ここの議論を一生懸命やらせてもらい、そう言われても、こういうことだ、という協議を望む。そちら側は、外堀を埋めてきて、だからこうだというふうにされたいという気持ちは前回聞いているが、これは協議だと思っているので、今は説明をいただいているだけという流れと取れるので、協議をするなら、私たちのテーブルにもついていただきたい。順番を変えていただきたい。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・件数の関係だが、前回会長からも意見をいただいた。持ち帰って考えてみるに、ある意味、火葬1件1万円だが、1万円の収入を得るのにいくらかかるのか、ということになると思っている。維持費の関係である。1体いくらというお示しをしたところ、動物火葬が入っていないということで、動物火葬は1体4千円を頂いている。動物火葬の件数を0.4として件数に入れるのが合理的かと思っている。次回までに資料を整理したい。
- ・配置の関係や、核心的なところをまずやってというお話したが、前回、柿崎区でも同様の意見を頂戴している。今後の進め方について、皆様方と私どもの思いがずれ

ている中では、なかなかうまくいかないというところもある。ここは1回持ち帰らせていただき、ただ今まで、こうやってやりますということで、各地域協議会でご説明した中で進めており、この次からすぐに切り替えることができるかどうか、ということもあり、持ち帰らせていただき、私の宿題とさせていただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【平山委員】

- ・今までは、皆さんがこちらから質問して答えてもらっているが、もし、頸北斎場を存続させるために必要な条件があれば、こういう条件が揃えば存続してもいいと、市から提案してもらえないか。あれば。難しいとは思いますが、どうか。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・私の口からは何とも言ってみようもないが、恐らく最終的には、こういったこともできれば、ということもあるのかと思う。それがどういうものなのか、全然思いつかない状況である。頂いた意見も参考に検討したい。

【平山委員】

- ・廃止にするには、いろいろな思惑があり、単に新しいところを作るために、頸北斎場を廃止するというのではなく、いろいろな意見があると思う。財政面や、そういった条件があれば、もし存続に条件があれば、次回でもいつでもいいので、お聞かせ願いたい。

【片桐雄二会長】

- ・関澤委員、どうぞ。

【関澤委員】

- ・資料の4ページの、葬儀業者と意見交換した資料で、確実にやったとは思いますが、この文体を見ると、頸北斎場が古いから、廃止をしないかな、という意図、思惑のような文章に思えてならない。
- ・5回も市から説明を受けて、その説明に対する質問をするだけであって、協議する形となれば、市も何かきっかけというか、こういう条件なら、こういう形なら、存続可能という情報もありますよ、という会にしないと、余りにも、説明して質問という、先行きならない。地域協議会には丁寧に1回から5回まで説明し、納得してもらったと、しかし、やはり統一の線でいくと、ぽーんとやられることを懸念して

いる。

- ・次回からでも、市の、どういう形で、残してもらえる条件や、何かがあれば、協議課題を、少しは持ってもらわないと、ただ説明を受けて、こんなことをやっているのでは、何かおかしいという感覚である。行政はどういう考えか。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・先ほど申し上げたとおり、柿崎区地域協議会でも、基礎よりも核心部分で話し合っただけという意見もいただいている。ただ、大潟区では終わっていないので、大潟区地域協議会を経て、場合によっては、各会長さんからお集まりいただき、今後の協議についてご相談いただく、ということも含め、この意見については、宿題として持ち帰らせていただく。

【片桐雄二会長】

- ・基礎の部分、現状を共有したいという発言があるので、それはいいが、それが終わった後に、実は、頸北斎場を無くす議論、協議があるのか、存続する協議があるのか。どうやら、皆さんが不思議に思うのは、1回目の資料の、例えば、頸北斎場で火葬すると7万円もかかるとか、今回の資料でも、葬祭業者から、新斎場へどうしたらよいか、という要望であり、これは新斎場への意見・要望である。そういうことが見え隠れすると、実はこの後には、我々としては、議論の核心となる存続するための協議があるのか、無くするための協議があるのか、多分争点となる。その時に、今までの資料を見ると、これを作為的とするか個人差があるが、頸北斎場を存続すると、負担が大きいような資料づくりに思え、委員の皆さんにも不信感がある。資料の作り方にも、公平性がある初めて生きてくる資料なので、その中で、我々も理解していくところもあるかと思う。
- ・前回も話したが、そういうところを精査して、我々としても、同じ共通認識をした後に、残すための協議、存続するための協議があるのだろうと期待している。よろしく願います。

【山岸副会長】

- ・今日、視察に行って、炉のメーカーなどもお願いしたが、それだけでは呼べないという話で、前もって私から、質問状をいくつか項目を上げてお願いした。その回答は、今日ではなく次回か。

【健康づくり推進課 横山課長】

- ・4回目のときに、今までの整理をするので、そのときに全てをお答えする方向で進めている。

【山岸副会長】

- ・わかりました。

【片桐雄二会長】

- ・意見交換会はこれで終了する。健康づくり推進課の皆さん、ありがとうございました。

(健康づくり推進課 退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、(2) 自主的審議事項について、①頸北斎場について、協議を行う。
- ・まず、頸北斎場の視察結果について協議を行う。本日、頸北斎場の視察を実施したが、施設の状況等を確認した結果を受けて、今後、どのように取り組むか、意見交換を行う。
- ・まず、委員から、視察についての感想や気づいたことなど、発言願う。
- ・今日、ここで出なければ、日を決めて、何日までに出していただき、健康づくり推進課から施設の業者に質問してもらい、回答いただく。
- ・質問があれば、事務局でとりまとめさせてもらおう。いかがか。

【委員】

- ・「はい」の声あり。

【片桐雄二会長】

- ・先ほど、レンガ造りで、レンガが破損した場合、全体的に建替えが必要なのか、ということについても回答が得られていなかった。そのような内容も質問の1つになると思う。
- ・その他で気づいたことがあれば、お願いします。

【五十嵐委員】

- ・会長のレンガの話と同じような話だが、1炉が壊れて1炉を入れ替えるときにどうなるかと聞いたら、3炉全部を止めて全部入れ替えるという話だった。それは無いと思うが、きちんと回答いただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【横田委員】

- ・20年経つと、炉だけでなく、施設全体で空調や配管の関係で劣化してくると思う。水回りの管理について、どうしているのか聞きたい。

【山越委員】

- ・運営は委託しているそうだが、管理上、前回の資料で、運営費を見ると、だいたい炉の規模、大きさに比例しながら、管理費が出てきているような気がする。修繕費ですと、1千万円かかっているところは7百万円、その他の運営費というところで、これが多分委託をした費用かと思うが、上越斎場が4,800万円で、頸北斎場が2,400万円となっている。稼働率から見ると、随分違う。
- ・建物の係の方が、上越斎場と兼任されていると言っていたので、こういう振り分けは、ちょうど半分の数字だと思う。それがうまく配分されているのか。人件費の部分が非常に大きな部分を占めていると思う。それが適正に処理されているのかと感じた。
- ・山岸副会長がどういう質問をしたのか、見せてほしい。

【平山委員】

- ・メンテナンスについて、質問して答えてもらったが、年2回やっているそうだが、どういうメンテナンス、点検をしているのか。ただ分解して、目視だけでやっているのか。機械的な検査等を行っているのか。その辺、毎回やっていることなので、という感じだった。
- ・普通、プラントだと、何年に1回、大停止とかいってやるが、それはなく、年2回しかやっていないそうだが、どの辺までやっているのか。今日、返事をもらえなかったなので、お願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・関澤委員、いかがか。

【関澤委員】

- ・別にない。

【片桐雄二会長】

- ・上野委員、どうぞ。

【上野委員】

- ・特にない。

【片桐雄二会長】

- ・薄波委員、どうか。

【薄波委員】

- ・費用について、私が質問したのは、常時どのくらい職員がいるのか。今日は1人だったが、平均するとだいたい2人いるかいないくらいか。

【山岸副会長】

- ・マックスで2人くらい。

【薄波委員】

- ・マックスで2人くらい。前回、人件費がどれくらいか聞いたとき、1,400万円という答えだった。それからすると、数字的に合わないかと思う。その辺りの精査をお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・大滝委員は、見学はできなかったが、斎場について質問があれば。

【大滝委員】

- ・メンテナンス関係、維持費関係で、もうちょっと細かく出してほしい。
- ・施設に関する質問の中で、斎場の隣に墓地がある。これは前回、五十嵐委員が勉強会を出していただいたものだが、墓地のあり方、万が一、斎場が無くなってしまったら、墓地の管理は、墓地自体は自分達で管理するだろうが、あそこに行くまでの道のりなど、どうやって管理するのか。問題となってくると思う。町時代に誘致して造ったと思うが、今はどんな管理になっているのか。

【片桐雄二会長】

- ・片桐利男委員、お願いします。

【片桐利男委員】

- ・会長が心配されたレンガの件である。
- ・私、今日、レンガを張り替える場合、どれくらい費用がかかるのか聞いた。レンガを含め炉が一体化となっているので、そっくり入れ替えだという話だった。続けて入れ替えとなると、1炉だけでなく3つある炉全て入れ替えとなる、という話だった。
- ・これについて、分からなくはないが、一般的に考えると、何ともったいないことと

思う。分からなくはないというのは、1箇所では不都合があれば、続けて起きてくる可能性があるため、早めにそういう懸念、危険を除去するには、みんな入れ替えるのがベターかもしれないが、経済的なことを考えると、その為に、長持ちさせることを考えないで入れ替えるのがもったいないと思う。何で1～3炉まである1炉だけを入れ替えることはできないのか、聞きたい。

【片桐雄二会長】

- ・佐藤委員、どうか。

【佐藤委員】

- ・皆さんと意見が被っているため、特になし。

【片桐雄二会長】

- ・今日見てきた感想を含め、今の内容をとりまとめ、4回目までに、山岸副会長の質問と合わせて回答をいただけるよう配慮願いたい。

【関澤委員】

- ・業者さんと呼ばなかったが、質問したときに、2つ炉があって1つ炉が壊れると、2つ全部替えないとだめなような回答だった。1炉ずつ替えられないかが1つの課題である。1つ傷んで、1つはいいのに、2つとも替えなければならないのは大変である。
- ・火葬場は営利事業ではない。維持費がいくらかかるという議論する課題ではない。その人が上越市に納めた税金で、最後に火葬してもらうのだから、その辺も考えなければならない。

【山岸副会長】

- ・私が前もって、視察の前に、業者が来ないということで質問状を出してある。今日答えてもらえなかったが、皆さんと被っている部分もあるが、一応お伝えしておく。
- ・直近の修繕費明細
- ・平成22年修繕費と維持費、23年修繕費、維持費の内訳
- ・メンテナンス契約の点検項目と係る人数、時間
- ・直近の大きな修繕内容と費用
- ・炉の修繕入れ替えは、1台ごとにできるのか
- ・なぜ、毎年ほぼ同じの金額になるのか、修繕費、維持費

【片桐雄二会長】

- ・他に質問があれば、2月24日までに事務局に提出願う。回答は4回目の意見交換会となる。願う。

【風巻班長】

- ・今の件は、文書で出していただくということでよいか。今の話も含めて。

【片桐雄二会長】

- ・今の話は会議録に残るので、とりまとめをしてほしい。それ以外のもの。

【風巻班長】

- ・今話の出た以外のものを、2月24日までに文書で、ということか。

【片桐雄二会長】

- ・そういうことで願う。
- ・次の自主的審議事項に移る。
- ・検討委員会報告と今後のスケジュールについて、協議を行う。
- ・頸北斎場の存続を求める意見書とりまとめのため、検討委員会を設置した。去る2月10日と本日午後、検討委員会の会議が開催された。その検討内容について、山岸座長から報告願う。

【山岸副会長（座長）】

- ・協議資料No.1-2のB案、No.1-3に基づき説明。
- ・団体長会議を開催するかどうか協議願う。2月末日までに開催願う。3月は団体長の交代があるので、2月末までに開催したい。
- ・その後、委員勉強会（非公開）を、3月6～8日に開催したい。
- ・3月16日、午後8時30分から地域協議会を開催し、意見書を議決したい。

（協議資料No.1-2を配布）

【片桐雄二会長】

- ・協議資料No.1-2のA案に基づき説明。
- ・地域協議会として検討していない案を、団体長の皆さんにお示しするのはどうかと思っている。せめて、委員の皆さんが素案を確認し、皆さんの意見を取りまとめた後、事前に送付して、団体長会議を開いてはどうかと思う。それがA案である。
- ・山岸副会長から、団体長が入れ替わるので2月に開催という話があったが、団体長

との意見交換会は3月9日に開催し、3月13日に検討委員会で集約し、3月16日に地域協議会を開催して決定したい。

- ・山岸副会長とも相談し、A案かB案か、皆さんから判断いただきたいと思う。
- ・質疑を求める。

【上野委員】

- ・ちょっと時間を下さい。読んでみます。

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。

【片桐利男委員】

- ・各種団体と意見交換するときに、委員の皆さんが、方向性を持った意見書でないと、各種団体の皆さんに提示できないという話があった。それは、A案、B案の中のどこを指しているのか。

【片桐雄二会長】

- ・協議資料No.1-2のA案、B案に基づき説明。
- ・A案、B案を理解いただき、採決で決定したい。

【片桐利男委員】

- ・A案、B案の違いは、勉強会をするかしないかという、目で見ただけの違いがある。それを脇に置いておいて、各団体長さんには、素案でもいいと思うが。今日の素案について、このように進めているので、団体長さんの意見があれば、勉強会で反映します、ということによいのではないか。原案でなければ、団体長に提示できない。そこに諮らなければ、前に進めないというものではないと思う。

【片桐雄二会長】

- ・皆さんの意見での集約なので、A案、B案それぞれ意見があると思う。皆さんの判断の中で。検討委員会ではB案となったと思うが、私は、地域協議会である程度煮詰めた状態で、団体長にお示ししたほうがいいのでは、という違いだけである。皆さんで協議いただき、時間の関係もあるので、採決で決めたいと思う。

【佐藤委員】

- ・この問題について、吉川だけでなく、柿崎、大潟の議決のスケジュールはどうなっているか聞きたい。

【片桐雄二会長】

- ・私が聞いているところでは、柿崎では議決のスケジュール時期ははっきり決まっていない。大瀧も聞いていない。3月16日に出すというのは、賛同いただければ、吉川はそうなるが、他の地区については出るとは聞いていない。

【佐藤委員】

- ・できれば、頸北地域まとまって、同じ月、日にちは多少しかたないが、市に対するアピールも強力になり、吉川だけ勇み足で出してしまうのはいかがなものか。もう少し検討する時間を置くのも1つの方法ではないか。周りとある程度、歩調を合わせた方がいいのではないか。

【上野委員】

- ・勝手に言うようだが、私はそもそも、関係団体との意見交換は必要ないと考えている。2月10日（の検討委員会）で、必要があるだろうという意見の中では、この話が出たときは状況が変わってきており、たよりでも状況が変わったことを既に知らせてある。それを、わざわざ集まってもらって、意見を聞くというのは、どこの部分を聞くのかと思う。
- ・それをやるとすれば、素案とかいう段階以前に、団体の意見を取り入れるのであれば、それを始める前にやるべきだと思う。
- ・私としては、A案に手を上げる。

【大瀧委員】

- ・前回の勉強会の中でも、薄波委員からも話が出ていた。佐藤委員からも話が出たように、他の地域協議会との関連の中で、意見書の提出時期について、合わせた方がインパクトがあると思う。検討しながら、出す時期は考えた方がいい。
- ・意見書の提出にあたり、全員協議会うんぬんは必要だと思う。上野委員の言われるとおり、団体長を集めて、意見書について意見を聞くのはいいが、だいたい話を聞いているとお分かりの通り、あえて必要なのか。同じような意見が出ると思う。それを再度聞く必要があるのかと思った。
- ・団体長の会を開くかの採決と、A案B案の採決と2回やれば決まると思う。

【片桐雄二会長】

- ・A案、B案をお示ししたが、相手があることなので、団体長の皆さんにご案内して、その日がどうしても都合が悪く、参加者が2人か3人であれば、検討の余地がある。これは我々の思いで作っている内容である。確認した上で、開催するかどうか判断

したい。意見書案をお配りすれば、会議に出られなくても、意見はもらえると思う。

- ・検討委員会を立ち上げた関係上、検討委員会の皆さんが、忙しい中、時間を調整していただき、決めていただいたことは、ある程度、重きに置いて、皆さんの決定事項は、ある程度踏破していきたいと思っている。その中で、若干の食い違いがある。
- ・佐藤委員からあったとおり、提出時期については、当初、山岸副会長からも、柿崎、大潟とある程度時期を同じにしたほうがインパクトが強いという話があったが、これは他の地域協議会の内容であり、我々が立ち入ってうんぬんとは、なかなか言えない。それにしても、検討委員会でも早いうちに出した方が、議論が進んでいく中、後手後手に回るのも、という思惑もある。意見書はあくまで意見書であり、思いは市に届けたほうがいいと思う。
- ・検討委員会から聞いているのは、年度が替わると、その前に、来年度の計画や予定が決まってしまう状況になるという懸念があるやに聞いている。いろいろ意見があるが、お聞かせいただき、皆さんの判断の基準にしていきたい。
- ・他に質疑を求める。

【片桐利男委員】

- ・A 案、B 案とも、3月16日に意見書決定となっている。3月16日はタイムリミットだと思っている。報道等でご承知のとおり、私の手元では2月8日の記事があるが、この中に、公約はいついつ、発表はいついつと載っている。

【山岸副会長】

- ・村山候補者のね。

【片桐利男委員】

- ・これは皆さんも承知されていると思う。そういうことを考えると、3月16日はタイムリミットという考えを持っている。それまでに意見書をまとめるプロセスについて、A 案は勉強会をしないで決定する。B 案は委員の勉強会をしてから決定するという違いかと思う。くれぐれも、3月16日以降に団体長会議をすることは、出遅れということになる。
- ・確認だが、3月16日がタイムリミットであるということは変わらないと、ご承知いただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・A 案も B 案も 3月16日ですので、大丈夫だと思います。

- ・薄波委員、いかがですか。

【薄波委員】

- ・片桐利男委員から言ってもらったので同じだが、年度中には吉川区地域協議会として意見書を出すのがベストだと思う。
- ・他の地区の地域協議会と同期を取って、タイミングを取ってという話を以前したが、状況が少し変わって来ている。他の地域協議会は、少しずつこむ可能性のある話も聞いている。同期を取ることはできなくなった段階で、政治的な動きもあり、4月には公約も発表される。そういうときに、3月時点で、こちらの意思として、はっきり伝えておく必要があると思う。3月中には出したい。
- ・団体長会議については、我々の地域協議会の中の状況がどういうものか、他の大潟、柿崎を含めた地域協議会の状況がどういうものであるか、説明する上でも、早々に開いていただきたい。同時に意見も伺いたい。早めに素案のレベルでもいいと思う。意見を聞くに当たっては。
- ・私としては、B案で、早めに事を進めていければいいと思う。

【山岸副会長】

- ・団体長会議については、こちらで原案をとりまとめてしまってから、正副団体長さんにお示しして、決めたのならそれでいいと、恐らく何も出なくなる。素案であれば、棚上げとか過ぎるとか、意見が出ると思う。この違いはあると思う。
- ・情報提供について、今、市民の皆さんの情報提供は、ニュースソースあるいはある市議の折込チラシしかない。我々は、定例の地域協議会を開くたびに、健康づくり推進課が出向いて、いろんな情報を説明いただいている。それをおつなぎする立場でもあり、おつなぎした上で、団体の皆さんがどう捉えるか、どういう意見が出てくるか、伺うべき立場であると思う。我々の思いが、我々だけで空回りすると、あの人方、自分達だけでやっていて、何も見えない、ということはあってはならない。皆さんが理解の下、皆さんが見えている状況で、我々は前に進むべきと、常々思っている。そういう心配はない、皆信頼している、がんばらない、という思いもないわけではないが、逆の思いが起きないように、情報提供して、意見を伺って、我々の意見としてまとめて、市長に意見書として提出する。これが真っ当だと思う。あとは、皆さんのお考えで決めてもらえれば有難い。

【上野委員】

- ・山岸副会長の発言はごもつとも。手の付けようがない真つ当なことを言っている。しかし、今回の意見書に限らず、諮問が時々あるが、それについて意見を述べるという段階になれば、また団体長さんを集めて、ご意見を承るとなれば、作業は膨大になる。
- ・山岸副会長の言われることは、ごもつとも、正論だが、私の本音から言えば、到底、そこまでやり切れない。それが私の気持ちである。

【山岸副会長】

- ・2月14日に、市議会と地域協議会正副会長の懇談会があった。市議会の皆さんは、情報収集、市民の声を聞きたがっている。我々だけでは拾いきれない状況がたくさんあるので、集まっていたんだと。
- ・我々地域協議会が、市民の、地域の声を拾い上げなくて、何の役があるのかと思っている。負担でしょうが、せめて近所、町内会くらいは、意見を拾い上げる立場に皆さんはある。自分の思いだけでどうのこうのという事案もあるかもしれない。そうでない、今回は、市民の皆さんに影響を与える事案である。皆さんの意見を伺った上で、意見書を出さなければならない。われわれの行動も取るべきところに行かざるを得ないという思いがある。

【片桐雄二会長】

- ・今ほどの発言は、委員の皆さんが、地域の声を聞いていないという意味合いではない。皆さんがそれぞれ聞いて、地域の代表としての認識の下、お集まりいただいていると思う。誤ったご認識のないようお願いする。
- ・スケジュールで、B案で勉強会を3月6～8日に開催し、意見書作成とありますが、皆さんが寄って勉強会をしても、皆さんの意見を取りまとめる日が必要になるはずである。勉強会では皆さんが寄った意見を、取りまとめして意見書に集約できない。勉強会をすれば、その後には、検討委員会で集約を図る必要がある。日程的に酷な日程となる。
- ・頸北斎場については身近な問題であり、応分の負担をいただく状況が生まれるかと思うが、過度な負担となると、皆さんは現職をもって地域協議会委員を担っていただいている上では、ある程度、3役や検討委員会でできるところは、ある程度集約したいと思っている。皆さんの意見を尊重し運営していきたい。
- ・ここで採決をしたい。よろしいか。

【片桐利男委員】

- ・勉強会の話があったが、勉強会は全員の勉強会だと思っていたが。

【片桐雄二会長】

- ・全員の勉強会を想定している。

【上野委員】

- ・（3月）6～8日の勉強会のこと。

【片桐雄二会長】

- ・B案の3月6～8日の勉強会は、全員の勉強会となると思う。全員が集まった中で、皆さんの意見を聞いても、集約がその後必要だという話をしている。皆さんが参加していろいろな意見が出れば、それを集約する日程がその後必要になる、という話をしている。
- ・採決に移る。A案に賛同する方は挙手をお願いします。

（6人挙手）

【片桐雄二会長】

- ・B案に賛同する方は挙手をお願いします。

（6人挙手）

【片桐雄二会長】

- ・同数の場合、会長に議決権がある。私はA案とする。A案は私が提案したものである。拮抗しているが、多数決でA案に決定する。
- ・次に、（2）平成29年度吉川区地域活動支援事業の採択方針案等について、協議を行う。
- ・まず、事務局から説明を求める。

【風巻班長】

- ・協議資料No.2－1に基づき説明。

【片桐雄二会長】

- ・事務局説明のとおり、この資料は何度もお配りし、事務局から詳細な議事録も作成していただいた。この場で議論ではなく、原案のとおりとするか、プレゼンテーションをするかしないかで採決をする。よろしいか。

【委員】

- ・「はい」の声あり。

【片桐雄二会長】

- ・プレゼンテーションを100%行うことに賛成の方、挙手をお願いします。

(8人挙手)

【片桐雄二会長】

- ・賛成多数。プレゼンテーションは従来どおり100%行うことで採択する。
- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明を求める。

【風巻班長】

- ・協議資料No.2-2に基づき説明。

【片桐雄二会長】

- ・これは、ぎちぎちのスケジュールか。

【風巻班長】

- ・例年どおり、これで実施しないと、事業採択を受けた団体も事業実施が遅れてしまう、ぎりぎりのスケジュールとなっている。

【片桐雄二会長】

- ・5月は農繁期だが、このスケジュールで了解いただくことでよいか。

【委員】

- ・「はい」の声多数。

【片桐雄二会長】

- ・これをお願いします。

【風巻班長】

- ・決定でよろしいですか。

【片桐雄二会長】

- ・そうです。

【風巻班長】

- ・協議資料No.2－3について説明。

【片桐雄二会長】

- ・次第5 総合事務所からの諸連絡について、事務局から説明を求める。

【関 次長】

- ・事務局から3点お願いする。
- ・2/17（金）から23（木）まで 平成28年度明るい選挙啓発ポスター・標語応募作品巡回展（コミプラ1階ロビー）
- ・3/4（土）15：30～ 新酒と郷土料理を楽しむ会の開催（遊ランド）
- ・3/15（水）までの平日 市・県民税申告相談の開催（保健センター）

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・次に、その他に入る。
- ・意見書案について、2月24日までに皆さんの意見を事務局までお願いする。

【関澤委員】

- ・頸北地区地域協議会正副会長連絡会について、どのようになっているか。経過を説明願いたい。

【片桐雄二会長】

- ・頸城、大湊からは回答があったが、柿崎の回答がまだなので、回答があったらお示しする。

【関澤委員】

- ・結成できるようご尽力願いたい。

【片桐雄二会長】

- ・その他、質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【風巻班長】

- ・ 3月9日の関係団体との意見交換会の地域協議会側の出席者について、前回は決定していなかったため、今回は決定いただきたい。
- ・ 検討委員会の皆さんからも、意見を聞いていただく必要があるため、今回の出席者は、正副会長と、検討委員会委員とし、検討委員会委員はオブザーバー参加でお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・ 事務局提案のとおりでよろしいか。

【委員】

- ・ 「はい」の声多数。

【風巻班長】

- ・ 次回の地域協議会の日程等を確認する。
- ・ 3月16日（木）19時から、吉川区「出張」地域協議会を、吉川コミュニティプラザで開催する。
- ・ 次回、定例の地域協議会は、3月16日（木）20時30分から、吉川コミュニティプラザで開催する。
- ・ 4月の定例の地域協議会は、4月27日（木）18時30分から、吉川コミュニティプラザで開催する。

【片桐雄二会長】

- ・ 事務局説明のとおり決定する。
- ・ A案の日程について、3役と検討委員会委員に案内をお願いする。
- ・ 閉会后、検討委員会委員は残っていただき、今後の日程を詰めたい。

【片桐雄二会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線213)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。